

4 重点目標と主な達成手段・評価規準

重 点 目 標	
目標に向かって自分を高める 児童の育成	誰とでも楽しく協働できる児童 の育成
夢	笑顔
<p>1 子どもたちが主役の授業 子どもたちが主役の授業を意識した授業改善を全職員が行い、「わかる・できる喜び」を味わわせ、「進んで授業に取り組んでいる」と80%以上の児童が答える。</p> <p>2 基礎的な学力の定着 夢や希望をしっかりと持ち、自ら進んで基礎・基本の定着を図り、国語・算数の単元テストの個人平均の昨年度比+2点を80%以上の児童が達成する。</p> <p>3 読書活動の推進 読書活動の推進に努め、個人貸出冊数の昨年度比+2冊を80%以上の児童が達成する。</p> <p>4 体力の向上 体育の授業や外遊び等を通して自分の体力を高め、80%以上の児童が体力テスト8種目中4種目以上において数値を高める。</p>	<p>1 笑顔あふれる学校づくり 悩み事やトラブルには全職員で早急に対応・解決を図り笑顔があふれる学校づくりを進め、「学校が楽しい」と90%以上の児童が答える。</p> <p>2 あいさつ・返事の習慣化 コミュニケーションの基本として元気のよい挨拶や感謝の気持ちを伝えることを励行し「進んで笑顔で挨拶をしている」と80%以上の児童・保護者・地域の方が答える。</p> <p>3 互いを認め合う態度の育成 特別支援教育や人権教育の視点に立った教育に力を入れ互いを認め合う態度を育て、「友達と仲良くできる」と90%以上の児童が答える。</p>
	感謝の気持ちをもち地域とともに 生きる児童の育成
	感謝
	<p>1 地域貢献活動の推進 地域に出かけての清掃活動や地域の方を招いての協働活動等を積極的に行い、感謝の気持ちをもって地域に貢献する意識を高める。</p> <p>2 地域人財の活用 学校運営協議会との連携を密にし、ボランティア（見守り隊、読み聞かせ、GT等）を活用した楽しい活動の場を多数設定し、延べ1000人以上活用する。</p> <p>3 情報発信・連携強化 学校便り（年20回以上発行）やHPの更新（アクセス数年5万以上）を行い、学校の楽しい授業や行事の様子を家庭や地域に発信し感謝の気持ちを伝え、連携強化に努める。</p>
地域との連携	<p>① 学校運営協議会・地域公民館との連携と地域活動への参加</p> <p>② オープンスクールの実施</p> <p>③ 家庭・地域と連携した体験活動や安全教育の推進と充実</p> <p>④ 高崎ブロック小中一貫教育の推進と共通実践事項の推進</p> <p>⑤ 学校便りやホームページによる積極的な情報発信</p>
留意点	<p>○ 個々の児童理解に努め、人権教育・特別支援教育の観点に配慮して児童に接し、一人一人の成長を評価する。</p> <p>○ 報告・連絡・相談をしっかりと行う。悪い情報ほど早く管理職に報告する。</p> <p>○ 問題を一人で抱え込まず、学校としての対応を行う。（チームで取り組む）</p>